

CSR REPORT 2016

三菱製鋼株式会社 CSRレポート2016



経営理念

1. お客さま第一

三菱製鋼グループはお客さまに、常により高い品質と機能をより安く、心のこもったサービスでおとどけます。

2. 新技術の開発

三菱製鋼グループはより高い技術を追求し、グローバルに競争力のあるものづくりに注力します。

3. 人を活かす経営

三菱製鋼グループは多様な人材が活躍できる職場環境をつくり、働きやすく活力に満ちた明るい企業集団をめざします。

4. 未来への挑戦

三菱製鋼グループはあふれる情熱と創造力をもって、世の中の変化に果敢に挑戦します。

5. 社会への貢献

三菱製鋼グループはコンプライアンス経営を基本とし、環境に配慮した事業活動を通じ、広く社会の発展に貢献します。

編集方針

作成目的

ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図るツールとして、報告書を発行いたします。

報告内容は、社会的責任に関する国際規格 ISO26000 の 7 つの中核主題にならい、取り組みを整理して紹介しています。

対象期間

2015 年度（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）を対象期間としましたが、一部対象期間外の内容も含まれます。

対象範囲

三菱製鋼株式会社を対象範囲としましたが、一部グループ会社も含まれます。

報告メディア

「CSRレポート2016」は当社ウェブサイトに掲載しています。
<http://www.mitsubishisteel.co.jp>

目次

会社概要	2
トップメッセージ	3
特集：中期経営計画	5
社会とのかかわり	7

ガバナンス

組織統治

CSR 推進	9
コーポレート・ガバナンス（企業統治）	10
リスクマネジメント	11

公正な事業慣行

コンプライアンス	12
株主・投資家の皆様とともに	13

社会性報告

消費者課題

お客様とともに	14
お取引先様とともに	15

労働慣行/人権

従業員とともに（安全と健康）	16
従業員とともに（人権・雇用）	19
従業員とともに（人材育成）	21

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とともに	23
----------	----

環境報告

環境

環境マネジメント	25
地球温暖化対策	26
廃棄物等の削減・再資源化	28
環境負荷物質の管理	28

2016 年 11 月発行

本書掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。

©MITSUBISHI STEEL MFG. CO., LTD. 2016

会社概要

会社名 三菱製鋼株式会社
 本社 東京都中央区晴海三丁目2番22号
 資本金 99億2千4百万円
 代表者 取締役社長 佐藤 基行
 売上高 1,065億円(連結)(2016年3月期)
 従業員 3,482人(連結)(2016年3月現在)

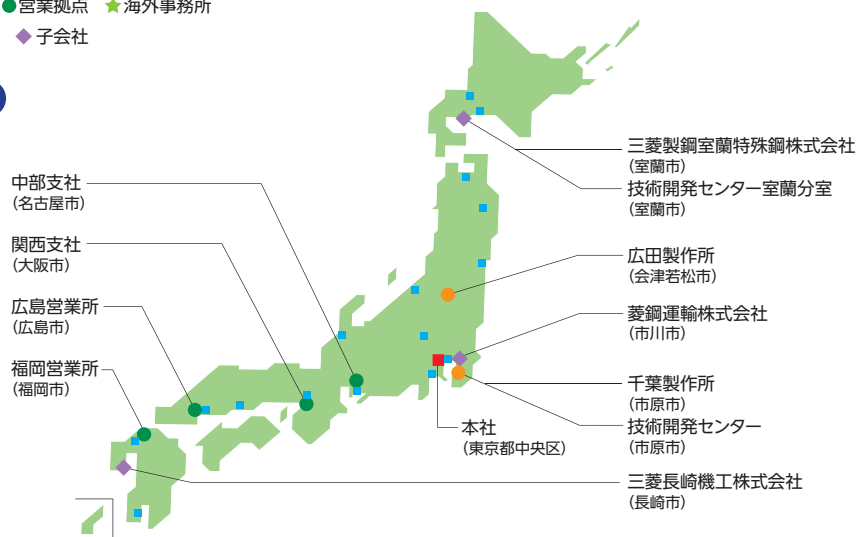
沿革



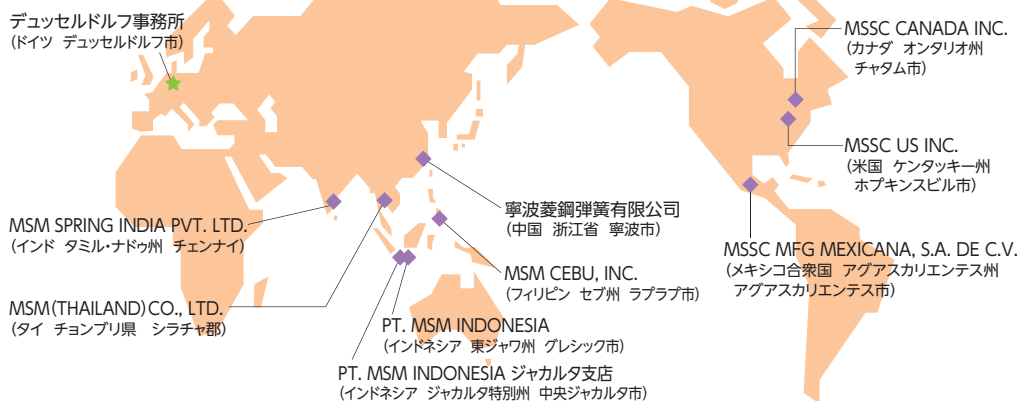
ネットワーク(国内・海外拠点)

- 本社
- 事業所
- 営業拠点
- ★ 海外事務所
- サービスセンター
- ◆ 子会社

国内拠点

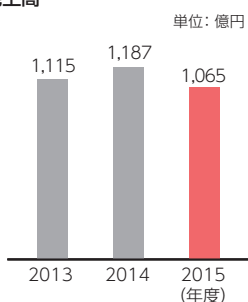


海外拠点

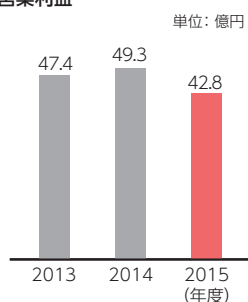


業績の推移

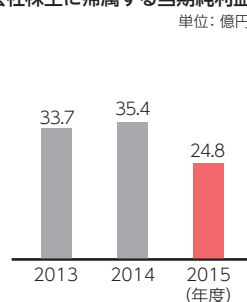
連結売上高



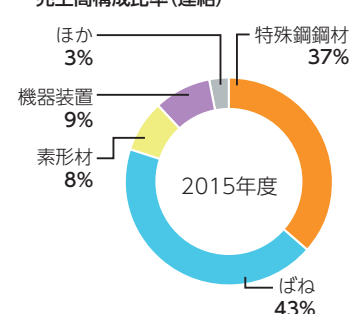
連結営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



売上高構成比率(連結)





取締役社長

佐藤 基行

ものづくりを通して持続可能な社会へ

当社グループは、特殊鋼鋼材、ばね、素形材製品、機器装置等の幅広い事業を国内外で展開しております。近年は国際競争力の強化を図るべく、グローバル展開を積極的に推進し、2015年度は中国（寧波菱鋼彈簧有限公司）で生産品目の拡充を図るとともに、新たにメキシコに子会社（MSSC MFG MEXICANA, S.A. DE C.V.）を設立いたしました。こうした事業展開を進める中で、CSRについてもグローバルな視野で人権や環境をはじめとするさまざまな課題と真摯に向き合い、ものづくりを通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

また、地球温暖化の影響も指摘される異常気象によって、甚大な被害をもたらす災害が国内外で多く見られます。環境保全是持続可能な社会を築いていく上で重要な課題だと認識しており、当社グループとしては、製造工程はもちろん開発・設計の段階から環境に配慮したものを「三菱製鋼グループ環境方針」に掲げて取り組んでおります。今後も社会から信頼される企業、従業員が自信と誇りを持てる企業を目指し、グループ一丸となって取り組んでまいります。

社会から求められる企業であり続けるために

「経営理念」と「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき、自らの社会的使命を果たすため、お客様・お取引先様・株主・従業員・地域社会など各ステークホルダーとの対話を通じて、より信頼される企業を目指します。また、より一層コーポレート・ガバナンスが重要視される時代となり、当社グループでは、いかなる経営環境にも対応できるグローバル展開に対応した企業体質の確立、透明性の高い健全な経営に取り組み、企業価値の最大化に努めてまいります。技術の面においては、当社グループが所有するさまざまな技術をより飛躍させるべく、2016年4月にこれまで事業部門ごとに分かれていた技術部門を集約し、技術開発センターを設置いたしました。各事業の技術やノウハウのシナジーを追求し、材料開発や素材現地調達化支援、また生産技術へのIoTの活用などにも注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社会的課題の解決に 事業を通じて貢献してまいります。

全ての従業員がいきいきと働ける職場環境づくり

安全衛生管理は、事業活動の基盤となる最優先事項の一つであるとし、元気よく健康に働ける会社づくりをしてまいります。また、2020年を目標とした女性活躍推進ビジョンを掲げ、ダイバーシティマネジメントに取り組むとともに、持続的成長を目指す上で人材育成は欠かせないと考え、グローバルに活躍する人材の輩出に取り組んでいます。これらを積極的に推進することで、当社グループの新たなDNAを生み出し続けます。

「2016中期経営計画」を掲げ、さらなる成長を目指します

我々の主要な顧客である自動車産業、建設機械産業とそれらを取り巻く環境は、国際情勢・世界経済の激しい変化を受け、より一層の厳しい競争にさらされていくものと予想されます。このような状況の中、当社グループは財務の健全化を達成し、グローバル投資を中心とした次なる局面へと動き始めております。この動きをより一層加速させ、当社グループの継続的な成長に結びつけるために、2016年度～2020年度の5年間の目標・戦略・施策を「2016中期経営計画」として策定いたしました。

今回策定しました中期経営計画では、『10年先への第一歩、「特殊鋼をつくり加工する」会社から「付加価値を素材から創る」会社へ』をスローガンに掲げて事業活動を実行し、当社グループのさらなる成長と企業価値向上に向けまい進してまいります。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2016中期経営計画スローガン

10年先への第一歩、

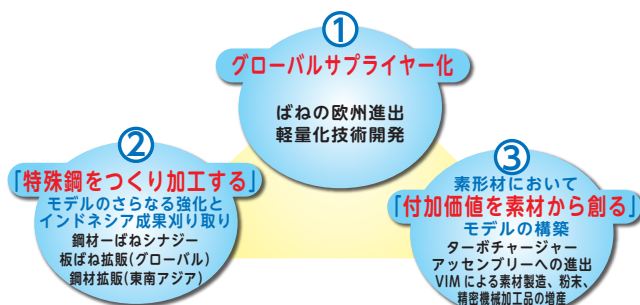
「特殊鋼をつくり加工する」会社から
「付加価値を素材から創る」会社へ

中期経営ビジョン

鋼材-ばねのシナジーで
「特殊鋼をつくり加工する」
モデルをグローバルで展開し、
より強固な柱とする

素形材は3本目の柱を目指し、
「付加価値を素材から創る」
モデルを構築することで
顧客分野を広げる

3大方針



2020年に向けて ③素形材の一貫モデル構築、②鋼材のインドネシア成果刈り取りを推進します。

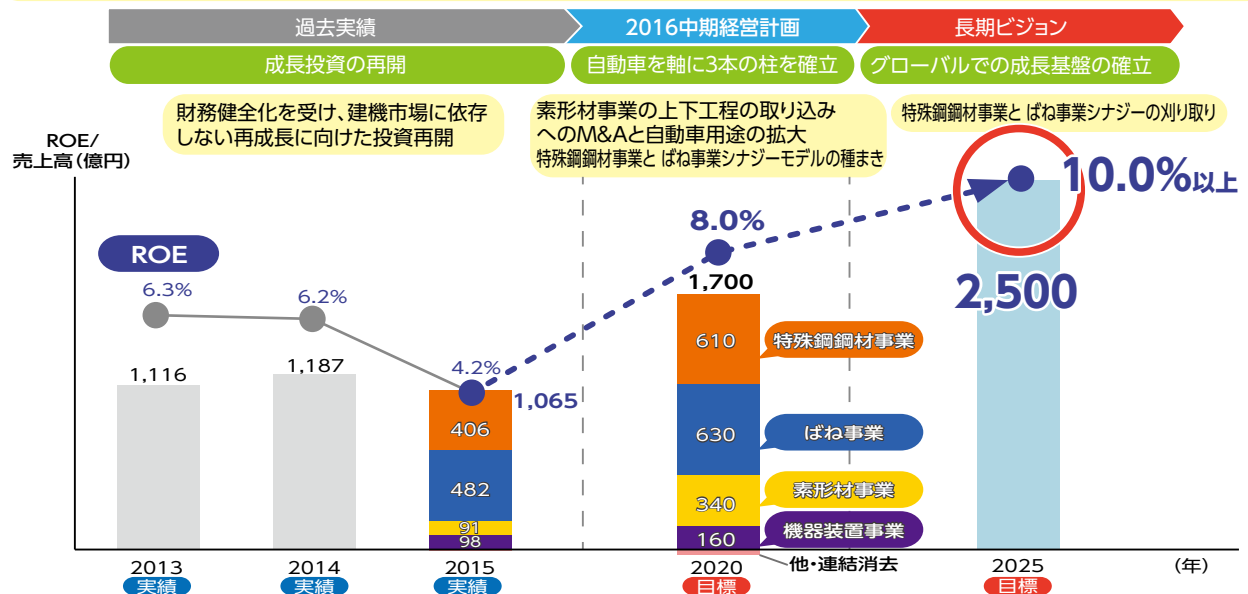
2025年に向けて ばねの①グローバルサプライヤー化と②一貫モデル強化(鋼材とのコラボレーション)を推進します。

中期経営ビジョン

鋼材-ばねのシナジーで「特殊鋼をつくり加工する」モデルをグローバルで展開し、より強固な柱とする

素形材は3本目の柱を目指し、「付加価値を素材から創る」モデルを構築することで顧客分野を広げる

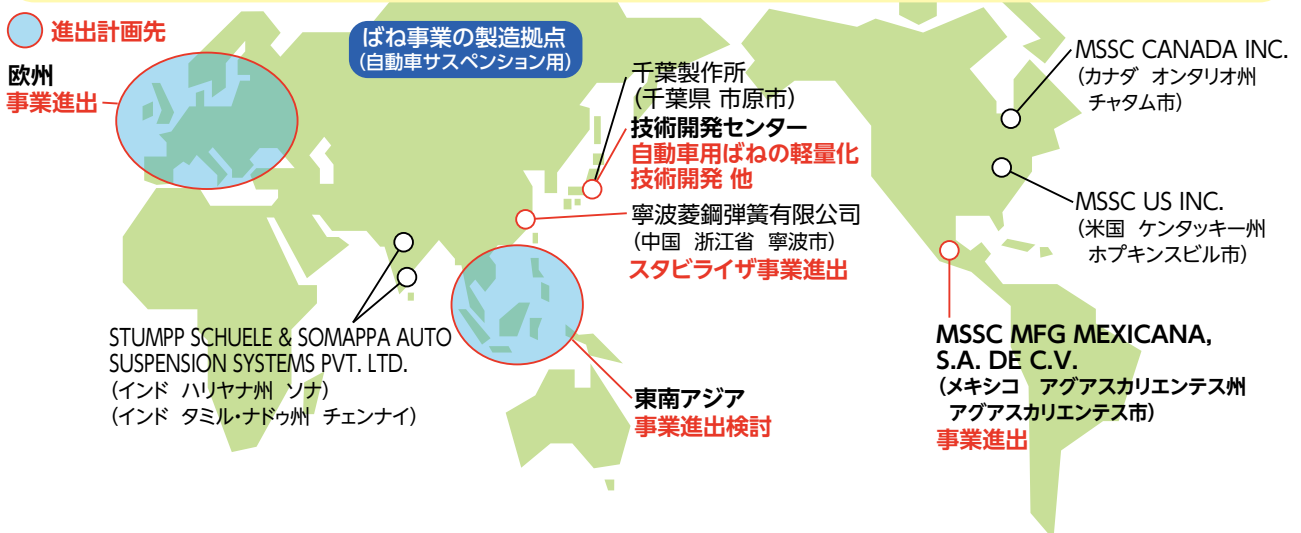
まずは特殊鋼鋼材事業とばね事業の間で「特殊鋼をつくり加工する」シナジー効果モデルを確立しグローバル展開いたします。また素形材事業は特殊鋼鋼材事業とばね事業に続く3本目の柱を目指し「付加価値を素材から創る」体制を構築し一貫生産モデルを展開してまいります。



3大方針

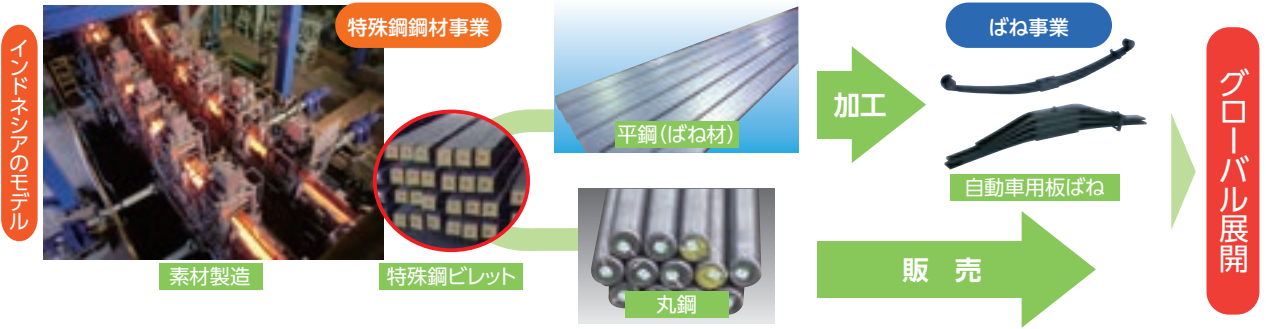
① グローバルサプライヤー化

メキシコや欧州進出で、ばね製造拠点のグローバル化をさらに進めます。また、自動車産業の需要を取り込むにはグローバル展開とばねの軽量化が不可欠です。メーカーのばね軽量化に対する要求に対して、4月に設立した技術開発センターで特殊鋼鋼材事業の持つ技術とノウハウを集約することで開発のスピードアップを図ります。



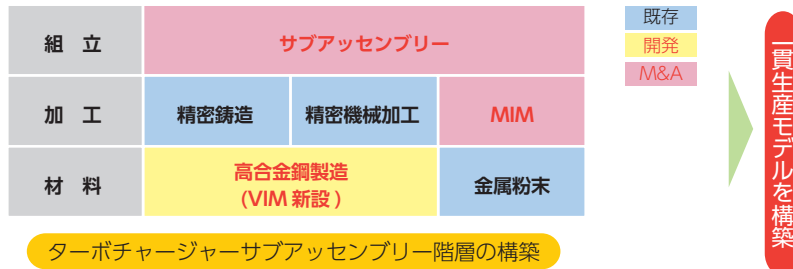
② 「特殊鋼をつくり加工する」モデルのさらなる強化とインドネシア成果刈り取り

インドネシアでは、特殊鋼鋼材事業とばね事業のシナジーで、材料から加工までの一貫生産モデルが完成し、低コスト板ばねをグローバルに拡販していきます。また東南アジアを中心として特殊鋼鋼材の拡販を進めて、将来的には同じモデルを北米やインドで展開していきます。



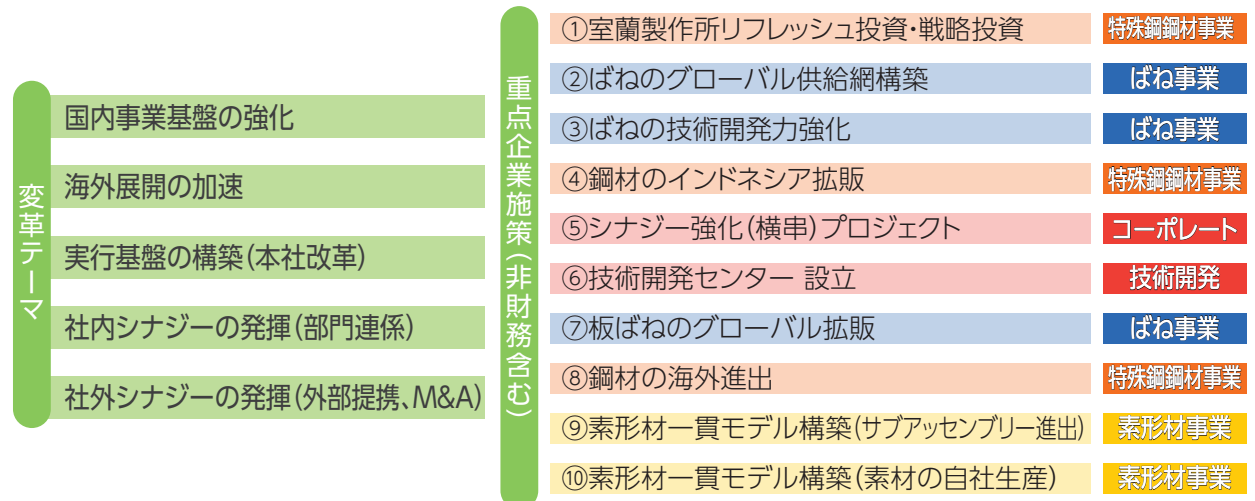
③ 素形材において「付加価値を素材から創る」モデルの構築

ターボチャージャー用部品の製造（現状の精密鋳造品）からサブアッセンブリー分野への進出、さらに特殊溶解炉を設置して高合金鋼を自社生産、MIM(金属粉末を原料として射出成形する技術)の取り込みなどを行い、ターボチャージャー分野で素材からサブアッセンブリーまでの一貫生産モデルを構築します。今後 M&A や提携などを視野に入れて進めていきます。



重点企業施策

変革5テーマは、10項目の重点企業施策を通じて推進してまいります。国内事業基盤の強化は、海外展開の裏表のテーマとなります。海外展開の加速は、中期的にも長期的にも中心となるテーマです。



特殊鋼鋼材事業

●建設機械等に使われる特殊鋼



連続铸造設備



全連続V-H圧延機



棒鋼
(機械構造用合金鋼・炭素鋼、ばね鋼 他)

製品 > 棒鋼 (機械構造用炭素鋼・合金鋼、ばね鋼、工具鋼、非調質鋼、快削鋼、軸受鋼 他)
 生産拠点 > 国内 北海道 室蘭市 海外 インドネシア
 主な最終用途 > 建設機械、自動車、産業機械、工作機械 他
 特長 > 高炉溶銜を主原料とした特殊鋼を生産しています。
 豊富な製品サイズレンジ (丸鋼: φ19~φ350、角鋼: 60~350mm)

社会とのかかわり

あす 「未来に込め」

当社グループの製品は、
さまざまな場面で貢献し

浚渫船で



バケット

工場で

- ・鍛造プレス (鍛造加工)
- ・回転鍛造機 (リング圧延)
- ・防振装置 (機械振動防止)
- ・铸造磁石 (一般産業用ステッピングモーター用)
- ・精密铸造品 (搬送装置用部品)

LNG 貯蔵基地で

- ・鍛鋼品 (LNG貯蔵タンク用ノズル)

リサイクル場で

- ・磁力選別機 (鉄、非鉄金属の選別)

トラック・乗用車で

- ・ばね (サスペンション用、自動車変速用)
 - ・スタビライザ
 - ・キャブ手摺り
 - ・あおり戸開閉補助装置
- 各種エンジン用部品
- ・燃料噴射装置用部品、ターボチャージャー用部品、クランクシャフト・コンロッド・カムシャフトに使われる特殊鋼鋼材

下水処理場で

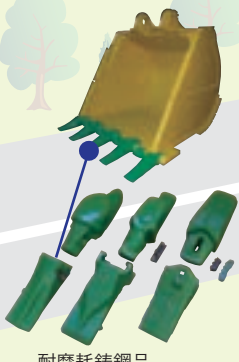
- ・下水汚泥減量化、燃料化、肥料化プラント

電車で

- ・ばね (鉄道車両用)
- ・特殊鋼鋼材 (大歯車等用、鉄道線路部品のタイプレート用)
- ・鍛鋼品 (駆動モーター用リテーナーリング)

素形材事業

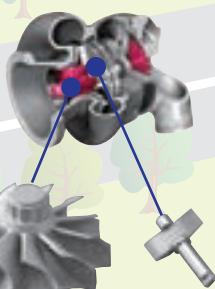
●幅広い分野で活躍する素形材製品



耐摩耗鋳鋼品
(建設機械用ツール)



特殊合金粉末



精密铸造品
(ターボチャージャー用部品)



精密機械加工品
(燃料噴射装置用部品)



磁石製品

製品 > 精密铸造品、特殊合金粉末、建設機械用耐摩耗鋳鋼品、铸造磁石 他
 生産拠点 > 国内 福島県 会津若松市 海外 タイ
 主な最終用途 > 自動車、建設機械、産業機械 他
 特長 > 铸造を中心とした加工技術で幅広い分野で使用される素形材製品を製造しています。

「三菱製鋼」

私たちの暮らしの中
でいます。

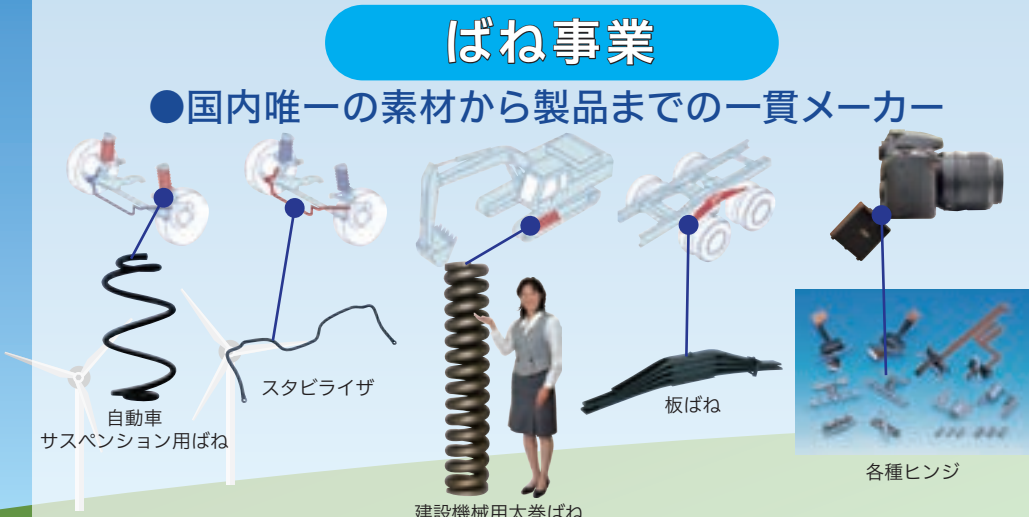
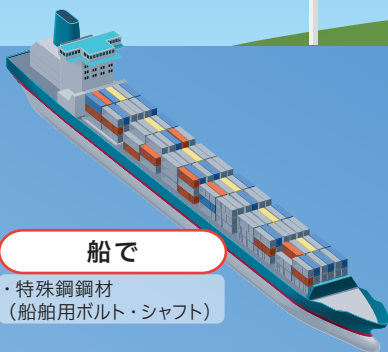
風力発電で

・特殊鋼鋼材（シャフト）



船で

・特殊鋼鋼材
（船舶用ボルト・シャフト）



ばね事業

●国内唯一の素材から製品までの一貫メーカー

自動車
サスペンション用ばね

スタビライザ

建設機械用太巻ばね

板ばね

各種ピンジ

製品> 自動車サスペンション用ばね・建設機械用ばね、情報通信機器用部品（機構部品・アンテナ等）、自動車補給部品 他
生産拠点> 国内）千葉県 市原市 海外）カナダ、米国、中国、インド、フィリピン、メキシコ
主な最終用途> 自動車、建設機械、情報通信機器 他
特長> 素材から製品まで一貫生産、精密ばねから超大型ばねまで豊富な品揃えを展開しています。
また、建設機械用太巻ばねでは、世界トップシェアを獲得しています。

変電所で

・トーションバー（遮断機用）

発電所で

・タービンシリンダー
（ガス発電用）

事務所で

・特殊合金粉末
（焼結、MIM用/OA機器、通信機器）
・鑄造磁石
（OA機器のステッピングモーター用）
・精密鑄造品
（ドットプリンター用ヨーク）
・ピンジ（デジタルカメラ、パソコン）

社会のかかわり

建設機械で

・ばね（建設機械用）
・タイヤプロテクター
・産業車両・建設車両用タイヤチェーン
・舗装を傷めないゴムパッド（イーグルパッド）
・鑄鋼品（建設機械用）
各種建設機械で使われる部品
・油圧シリンダー、旋回輪、スプロケットなど
に使われる特殊鋼鋼材

機器装置事業

●基幹産業を支える機械・プラント技術



鍛圧機械
（鍛造プレス機）



鍛圧機械
（リングローリングミル）



環境装置
（メタサウルス）

製品> 鍛圧機械、一般産業機械、鉄構品、環境機器、磁力選別機、搬送装置 他
生産拠点> 長崎県 長崎市
主な最終用途> 産業機械 他
特長> 鍛圧機械のトップメーカーとしての技術をベースに幅広い製品へ展開しています。

CSR 推進

当社グループは、「経営理念」と「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき「CSR 基本方針」を策定し、これに則してCSR活動を推進しています。「三菱製鋼グループ企業行動指針」は、「事業活動」「コンプライアンス」「情報開示」「社員の尊重」「環境保全」「国際化」の6つを柱とし、その中で11項目を明文化することで、従業員へCSRに対する意識の向上を図っています。

CSR 基本方針

「経営理念」と「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき、自らの社会的使命を果たすことでより信頼される企業を目指し、お客様・お取引先様・株主・従業員・地域社会など各ステークホルダーとの対話を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

三菱製鋼グループ企業行動指針 (2015年11月26日改定)

三菱製鋼グループは、経営環境の変化に対応できる企業体質を確立し、持続的かつグローバルに発展するとともに、社会から信頼される企業を目指すため、「三菱製鋼グループ企業行動指針」を定める。

グループ各社の全ての役員・従業員は本指針を共有し、実行することを自らの責務とする。

- 事業活動**
1. 常により高い品質と機能を持ち、顧客ニーズを満足させる製品・サービスを提供し、社会の発展に寄与する。
 2. 保有する多様な技術を結集し、ユニークでより高い技術の開発に注力するとともに、収益性の確保に努めながら効率的な経営を目指し企業価値向上に努める。
 3. 挑戦を是とし失敗を恐れない社風を育み、自ら変わり続ける意志を持つ。
 4. さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを意識した経営を基本とし、社会の発展に貢献する。
- コンプライアンス**
5. 法令や社会規範を遵守し、公正で透明・自由な競争並びに適正な取引を行う。
 6. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは決して関係しない。
- 情報開示**
7. 企業情報を適時適切に開示し、透明性を確保するとともに、個人情報・顧客情報など、各種情報の保護・管理を徹底する。
- 社員の尊重**
8. 社員の人権・人格・個性と多様性を尊重し、差別を行わない。
 9. 安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、人材育成を通じて企業活力の維持・向上を図る。
- 環境保全**
10. 地球環境の保全は人類最重要課題の一つと認識し、事業活動のあらゆる面で環境の保全に積極的に取り組む。
- 国際化**
11. グローバルな事業活動においては、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重しながら経営を行う。

topics

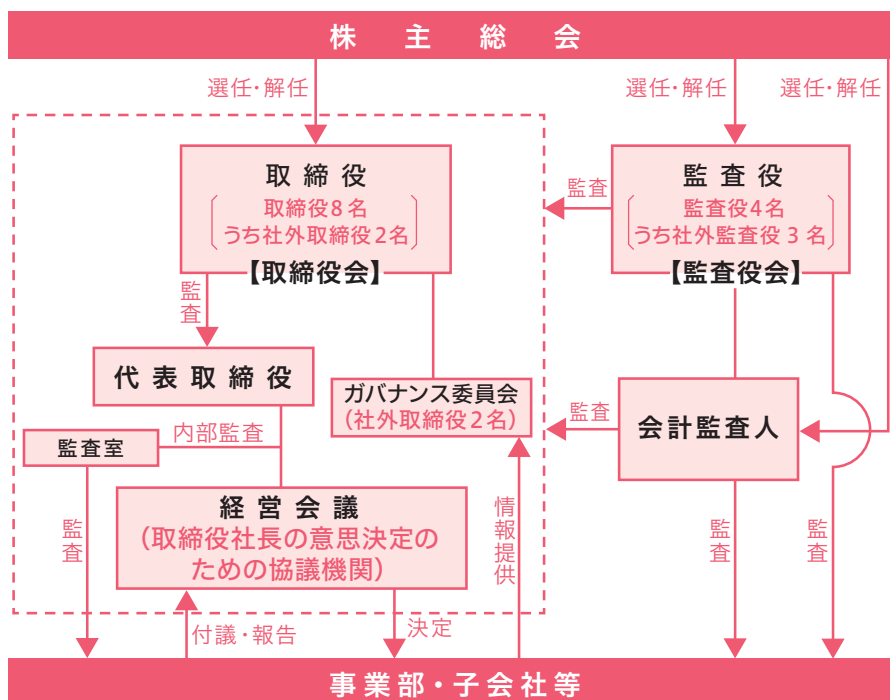
社会的要請や事業環境の変化等もあり、「経営理念」「三菱製鋼グループ企業行動指針」の改定を行いました。新しい「経営理念」「三菱製鋼グループ企業行動指針」は国内・海外のグループ各社に掲げられています。

コーポレート・ガバナンス（企業統治）

当社グループは、いかなる経営環境の変化にも対応できる企業体質を確立することを重要課題と認識し、競争力ある事業の育成を通じて、持続的かつグローバルに発展することを経営の基本方針としており、このためには、コーポレート・ガバナンスを充実させて迅速かつ合理的に経営の意思決定をし、かつこれに対するチェック機能を確保することが重要と認識しています。

コーポレート・ガバナンス体制

2015年度に「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を策定し、それに伴い取締役会規則を見直し、より実効的なコーポレート・ガバナンス追求のために必要となる重要案件を付議・報告基準に加え、また、取締役会の下部機関であるガバナンス委員会において独立社外取締役間の情報交換と認識共有等を実施することで、取締役会の監督機能を強化しています。「コーポレートガバナンスに関する基本方針」は当社ウェブサイトに掲載しています。



※ 2016年10月現在の概要を表しています。

コーポレート・ガバナンス（企業統治）

内部統制に関する重点項目

◎取締役会制度と監査役会制度の機能強化

取締役会はグループ全体の経営戦略を方向付ける場であり、意思決定の迅速化に留意しつつ経営の基本方針策定、法令・定款で定められた事項、その他経営に関する重要事項の決定及び取締役の業務執行の監督をしています。また、社外取締役及び社外監査役が取締役会に出席し、業務執行の決定における公平性・透明性を確保しています。

◎経営会議による業務執行の審議ならびに 法令遵守・危機管理強化

取締役、監査役、フェロー社員、事業部長、企画部門・管理部門各部長等を構成メンバーとした経営会議を毎週定期的に開催し、重要な業務の執行、法令遵守、危機管理について審議し、対応しています。

◎財務報告に関する内部統制

内部統制委員会及び取締役会は、2015年度の財務報告に係る内部統制について一般に公正妥当と認められる評価基準に準拠して有効であると評価しています。また、監査法人からも当該評価は適正であるとの監査意見をいただいています。

取締役会・監査役会の実施

取締役会・監査役会を原則、毎月1回開催しています。各社外役員も、それぞれの見地から活発に意見を述べ、経営監視機能を十分に発揮しています。

2015年度実施状況

	開催回数	社外役員出席率 5名（うち社外監査役3名）
取締役会	14回	100%
監査役会	14回	97%

リスクマネジメント

健全な事業活動を継続するため、リスクが発生し又は予見される際は迅速かつ的確に対応する危機対応能力の強化を推進し、リスクの未然防止に努めています。

リスク管理体制

当社経営会議において、当社グループの事業活動におけるリスクを洗い出し、検討を行っています。2015年度では計60回の経営会議を開催しました。重要案件については取締役会規則に基づき取締役会においても審議し、事業活動におけるリスクの把握・管理ができる体制を強化しています。

事業継続計画

当社グループのBCP（事業継続計画）は経営企画部が事務局となり、全社的に整備を進めています。特に首都圏にある本社、千葉製作所などでは、一括した組織を設け、「首都圏防災会議」を隔月で開催し、BCP推進の強化を図っています。

災害発生の際、迅速・正確に全従業員の安否を把握することを目的として「安否確認システム」を導入しています。また、各拠点で3日分の備蓄品を用意するとともに、1日分の避難セットを配付しています。その他、所有建築物における耐震診断の実施や従業員教育を目的としたシナリオ非提示型危機対応模擬訓練[※]への参加も順次進めています。

※訓練シナリオを知らせずに、起こりうる非常事態を模擬体験させることで、必要な行動を考えさせる訓練



1日分の避難セット

機密情報管理

当社では、開示すべき情報について、適時適切に開示する一方、「機密管理規程」を策定し、お客様・従業員・その他関係者等からの保護すべき情報資産のセキュリティ管理を徹底しています。

2015年度はメールセキュリティ強化のため、社外宛メールの上長同報及び添付ファイルの自動付与の仕組みを導入しました。

また、従業員の特定個人情報保護についての関連規定を整備し、マイナンバー（社会保障・税番号制度）への対応を行いました。

◎機密保持契約

機密事項の漏洩防止のため、従業員は入社時に「機密保持に関する誓約書」を提出しています。

定期的に教育を行うことにより機密管理の重要性の認識を促し、情報漏洩防止の徹底につなげています。

海外危機管理対策

安全かつ衛生的な日本とは、全く異なる環境で生活している海外駐在員・帯同家族・出張者が安心して海外生活を送れるよう、いざというときの対策を講じています。海外危機管理の専門会社と連携し、医療面・セキュリティ面（犯罪や災害等）において世界のどこにいても24時間365日、日本語でアドバイスや救援を受けられる体制をとっています。

また、気候や抗議活動などで注意情報がある都度、本社と海外拠点で情報共有するなど、日ごろから国際間のコミュニケーションを大切にしています。

個人情報保護方針

三菱製鋼個人情報保護方針をウェブサイトで公開しています。

<http://www.mitsubishisteel.co.jp/cont/kojinjouhou.htm>

なお、2015年度には個人情報漏洩に関する事例はありませんでした。

コンプライアンス

当社グループは、「三菱製鋼グループ企業行動指針」に示す通り、法令・社会規範を遵守した企業活動を行っています。

コンプライアンスの取り組み

当社グループでは経営会議、取締役会において法令を遵守した業務執行がなされているか審議するとともに、監査役会によるグループ全体の監査と内部監査部門である監査室による従業員の業務執行監査を相互に連携しながら行うことで、コンプライアンス体制の構築・運用に努めています。

◎コンプライアンス教育

当社グループでは、コンプライアンス教育の充実に取り組んでいます。

研修では、実際に起きた具体的な事例を取り上げ、階層に応じた教材を使用し、必要に応じてディスカッションを組み込む等、コンプライアンス問題を身近に感じてもらえるような工夫をしています。

今後もコンプライアンス意識が一層向上し、役員はもとよりグループ従業員全体に浸透するよう継続して実施していきます。



コンプライアンス研修

反社会的勢力との関係遮断

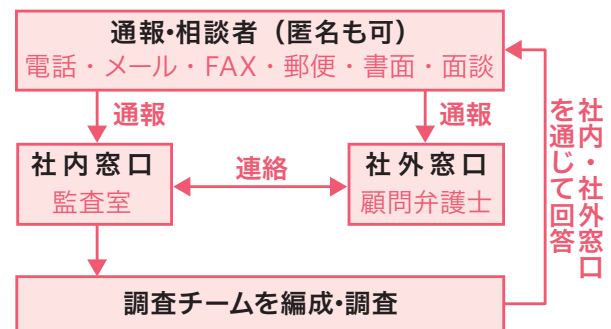
当社グループは、「三菱製鋼グループ企業行動指針」に示す通り、反社会的勢力に毅然と対応し、決して関係しないと定めています。これに基づき、お取引先様と「反社会的勢力の排除に関する覚書」を締結しています。また、従業員教育の中で反社会的勢力との関係遮断のほか、威嚇や不当要求に屈することのない毅然とした対応で臨むことを指導するなど「三菱製鋼グループ企業行動指針」の遵守に努めています。

内部通報制度

当社グループの従業員が業務において、法令違反や不正行為、又は問題がありそうだと気づき、何らかの理由で職場内では相談しにくい場合に、職場以外の社内と社外の窓口で報告・相談を受け付ける仕組みです。

通報方法として、電話・メール・FAX・郵便・書面・面談のいずれも可能とし、また、匿名での通報も受け付けています。

内部通報制度とその後の流れ



通報・相談件数

(件)

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
件数	2	3	3	6

※ 2012年度～2015年度で法令違反等の重大なものはありませんでした。

株主・投資家の皆様とともに

当社は、企業価値向上へ向けて改善を進めるとともに、公正かつ適時適切な開示に努め、健全な経営基盤を維持しています。

ウェブサイトでの情報掲載

ウェブサイトでは、常に新しい情報を伝え、重要な情報を公平かつ適時適切に掲載しています。その他、トピックス、CSR情報等、法令や規則で定められた情報以外の掲載にも努めています。

2015年度は情報開示の基本姿勢等を示した「株主・投資家との対話に関する基本方針」を制定し、ウェブサイトに掲載しました。



ウェブサイトトップ画面

株主の皆様とのコミュニケーション

株主の皆様には、期末・第2四半期決算後に「株主の皆様へ」を送付しています。該当する期間の業績の推移、セグメント別状況、トピックス等をグラフや写真を用いて掲載することで、株主の皆様にわかりやすく紹介し、当社グループに対する理解を深めていただけるよう努めています。



「株主の皆様へ」の冊子

株主総会・株主懇談会

当社では定時株主総会后に株主の皆様との情報交換の場として、株主懇談会を開催しています。事業内容の紹介パネルや製品の展示、製造工程を動画等で紹介し、社長をはじめとする取締役や事業部長、営業部長が説明にあたっています。株主懇談会は、株主の皆様から直接ご意見をいただける大切な場と考えています。



株主懇談会の様子

決算説明会

当社では証券アナリストや機関投資家を対象とした決算説明会を定期開催(5月・11月)しています。また、工場見学会を3月に三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)で行い、各製造工程を見学いただきました。決算説明会での要望を踏まえ、他製作所でも開催を予定しています。



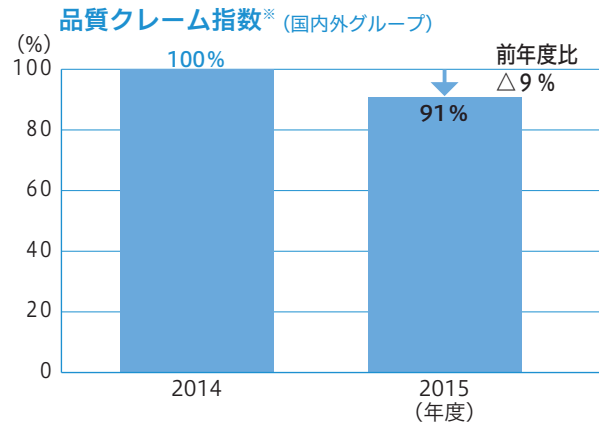
決算説明会の様子

お客様とともに

当社グループは、営業・製造・品質保証部門が一体となって、お客様の満足と信頼を得られる製品を提供し続けることで、社会の発展に貢献します。

お客様満足の向上

当社グループの製品がお客様の満足と信頼を得るため、営業・製造・品質保証部門が一体となって品質向上に努めています。クレームに対しては、製造現場の作業長や担当者を含めて「クレーム対策会議」を開催し、品質会議等でクレームの原因究明と是正措置の徹底を継続した結果、2015年度の品質クレーム指数は、前年度に比べ9%減となりました。



*品質クレーム指数：2014年度の件数を100%とした場合の指数。

品質 ISO 等取得状況

【ISO9001】

国内事業所

事業所名	取得年月
千葉製作所	2003年12月
広田製作所	2008年10月

国内関連会社

社名	取得年月
三菱長崎機工(株)	1995年3月
三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)	2015年3月

海外関連会社

社名	取得年月
MSM CEBU, INC.	1998年3月
MSM (THAILAND) CO., LTD.	1999年3月

【ISO/TS16949】

海外関連会社

社名	取得年月
MSSC CANADA INC.	2004年7月
MSSC US INC.	2004年9月
MSM (THAILAND) CO., LTD.	2007年2月
寧波菱鋼彈簧有限公司	2009年10月

有害な化学物質管理への対応

国際的な化学物質管理が次々と制定され、製品に対する有害な化学物質の非含有要求がますます高まっています。当社グループは、製品中の有害な化学物質を管理する体制を整えており、欧州のRoHS指令やREACH規則などに対するお客様の要求に対応しています。環境負荷物質に関する書類を発行し、意図的に添加していないことを保証しています。

【品質保証に関する有害な化学物質】

- ・鉛及び鉛化合物
- ・カドミウム及びカドミウム化合物
- ・水銀及び水銀化合物
- ・六価クロム
- ・ポリ臭化ビフェニル類 (PBB 類)
- ・ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類) など

お客様からの評価

お客様から以下の表彰等をいただきました。

お客様	表彰内容	当社グループ
広汽豊田汽车有限公司	品質協力賞	寧波菱鋼彈簧有限公司
天津一汽豊田汽车有限公司	品質達成賞	寧波菱鋼彈簧有限公司
四川一汽豊田汽车有限公司長春豊越公司	品質達成賞	寧波菱鋼彈簧有限公司
General Motors Company	GM Supplier Quality Excellence Award (GM 品質)	MSSC CANADA INC.
General Motors Company	※ GM サービスのオンタイムデリバリー	MSSC CANADA INC.

※ GM Customer Care and Aftersales, Certificate of Excellence Gold Supplier Status

お取引先様とともに

当社では「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき、顧客ニーズを満足させる製品とサービスを提供するために、公正・公平な取引を実施し、ビジネスパートナーであるお取引先様とともに、法令遵守・環境・安全・人権保護に配慮した調達活動を推進していきます。

三菱製鋼グループの資材方針

1. 法令・社会規範の遵守（コンプライアンスの徹底）
2. 公正・公平な取引とパートナーシップ構築
3. 地球環境への配慮
4. 人権・労働安全衛生への配慮
5. CSR 調達の推進

- ・当社では調達取引におけるコンプライアンス違反がないよう、内部監査を実施し、下請法他関連法規の遵守状況を確認しています。また、「下請法マニュアル」により、定期的に社内関係者への教育を行い、責任者から担当者まで、法律理解を深めています。

【2015年度実施】

実施内容	実施拠点数
資材内部監査	3
資材関連社内教育	4

- ・全ての取引に関して、公正・公平な取引の機会を提供し、また、全てのお取引先様と良きパートナーシップを築き、信頼関係の維持向上に努めています。
- ・調達取引先及び調達品選定においては、環境負荷低減に配慮した調達活動を推進しています。
- ・基本的人権を尊重するとともに、労働安全衛生に配慮した調達活動を推進しています。

《コンフリクトミネラル（鉱物紛争対策）》

人権保護の観点から、コンフリクトフリーであることを確認して原材料の購入を進めています。また、お客様からのサプライチェーン調査へも随時対応しています。

- ・お取引先様へも資材方針を説明し、CSR 調達の推進にご理解とご協力をお願いしています。

お取引先様との取り組み

主要なお取引先様へは、資材方針についての基本的な考え方を説明するとともに、法令遵守や地球環境への配慮についての協力を呼びかけています。また、各事業所では、お取引先様とともに人権・労働環境・環境保護に関する問題に取り組んでいます。各事業所及びグループ各社の資材部門等に対しては、下請法の内部監査・教育を継続実施しています。

◎三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)の活動

三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)では毎年、鋼菱会（協力会）の役員会において、資材方針の内容と取り組みについて具体的な説明を行い、会員の皆様へも同様の活動をしていただくようご理解をいただき、協力会と一体になってCSR 活動を進めています。

【Voice】

私たち鋼菱会では、労働安全衛生への取り組みとして、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)と合同で1回/月の安全パトロールを実施しております。今後も相互の協力関係を深め、一体となって社会的責任を果たすよう努力してまいります。



三菱製鋼室蘭特殊鋼
鋼菱会 会長
(吉川工業(株) 室蘭支店)
常務執行役員 支店長
中村 正明さん

従業員とともに（安全と健康）

当社グループは、「安全は全てに優先する」という考えのもと、安全で健康的に働ける、快適な職場環境づくりを推進しています。

安全衛生の取り組み

事業所ごとに会社と労働組合のメンバーで構成された安全衛生委員会を設置し、安全衛生に関する情報を共有するとともに、労働災害の防止と従業員の健康の維持・管理・増進を図っています。

災害が発生した場合は、原因を分析するとともに対策を施し、他の事業所へ情報の展開及び共有を行っています。



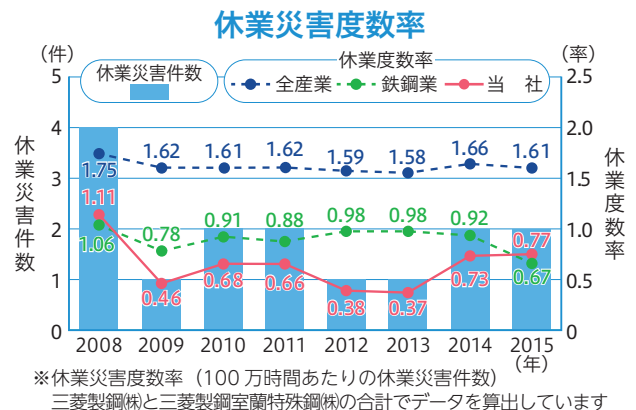
安全衛生委員会の開催（広田製作所）

安全の状況

休業災害の撲滅に向け、経営トップによる各事業所及び子会社の安全衛生トップパトロールを実施しました。各場所を視察し、災害が発生した現場においては、災害の発生原因と改善対策の確認を行いました。



安全衛生トップパトロール（千葉製作所）

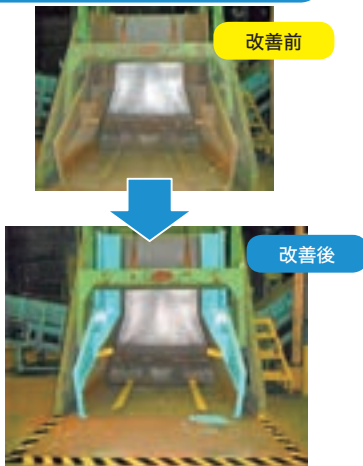


従業員とともに（安全と健康）

各事業所の安全活動

職場巡視を繰り返すことにより、職場に潜む危険を見つけ、都度必要な対策を実施しています。

改善事例（広田製作所）



立入禁止エリアの明確化



危険予知訓練による安全意識の向上（千葉製作所）

教育・訓練を繰り返すことにより安全に対する感受性を高め、職場全体で危険の芽を摘み取る取り組みを実施しています。

従業員とともに（安全と健康）

◎フォークリフト技能コンクール開催

各所で、フォークリフト技能コンクールを行いました。決められたコースで荷物の運搬を行い、運搬作業の安全・正確・効率の向上を図りました。



千葉製作所



広田製作所

◎防火・防災訓練の実施

各拠点において、防火・防災訓練を定期的実施しています。地域の消防署に講評をいただき、レビューを行うことでレベルアップを図っています。

本社では、防火・防災訓練の一環で普通救命講習会を実施しています。管轄区域にある消防署の方を講師に招き、心肺蘇生法やAEDの取り扱いの実習等を行い、緊急時の対応を学びました。

千葉製作所では、千葉県東方沖を震源とする震度6強の地震を想定した避難・防災訓練を実施しました。海岸沿いのため、津波を想定した建屋2階への二次避難、けが人の救出・搬送・応急手当訓練、屋内消火栓を使用した放水訓練等を行いました。



普通救命講習会（本社）



自衛消防隊による消火訓練（千葉製作所）

◎海外生産拠点における安全衛生の取り組み

当社グループは、北米・アジア地域に生産拠点を有しており、拠点ごとに安全衛生基本方針を掲げ、安全活動に取り組んでいます。当社グループ及び他社で発生した災害事例を国内外の生産拠点へ展開し、情報を共有するとともに再発防止に努めています。

健康管理

定期健康診断及び人間ドックで、要治療や要精密検査等の判定があった従業員に対し、産業医や保健師による適切な指導を行うほか、社内レクリエーションやクラブ活動等を積極的に行い、従業員の健康増進と社内コミュニケーションに努めています。

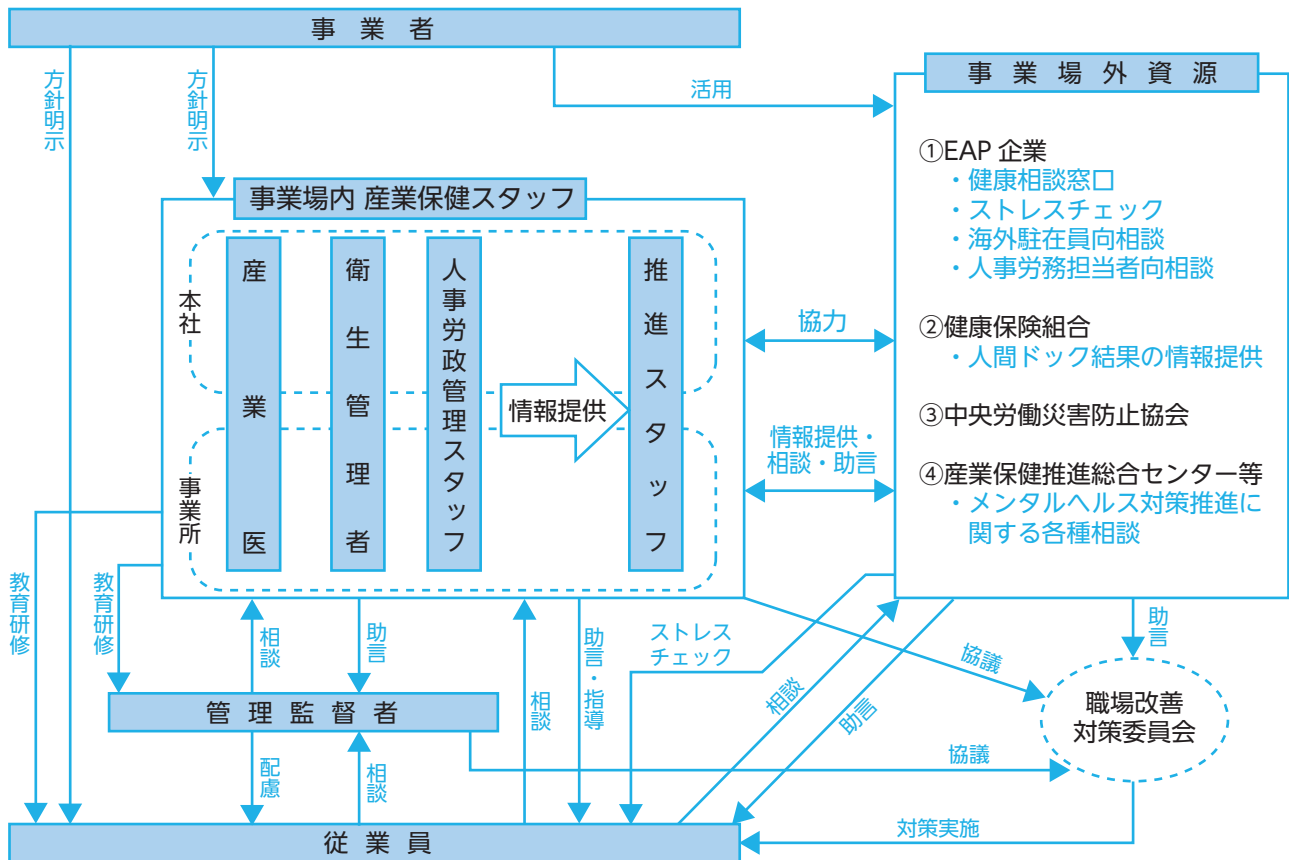
◎メンタルヘルス教育

社内でメンタルヘルスに関する講師を養成し、各事業所でメンタルヘルス教育を行っています。社内講師による教育によって、事業所ごとの特性に合った指導が可能となっています。

◎「三菱製鋼 健康サポート」の開設

外部企業に業務委託し、医師や看護師、産業カウンセラーに健康上の不安やメンタルヘルスの悩みについて相談できる社外相談窓口を設置しました。職業生活におけるさまざまな問題に関して、電話やウェブサイトを通じ、年中無休の無料相談を利用できます。また、面談によるカウンセリングを受けることも可能です。プライバシーは厳守されるため、安心して利用することができます。

三菱製鋼 健康サポート体制



従業員とともに（安全と健康）

従業員とともに（人権・雇用）

当社グループでは、人権を尊重するとともに、仕事と生活が両立でき、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

人権の尊重

当社グループでは、「社員の人権・人格・個性と多様性を尊重し、差別を行わない」ことを「三菱製鋼グループ企業行動指針」に掲げています。「三菱人権啓発連絡会」へ参加し、三菱グループ各社の人権担当者との意見交換会や講演会へ出席するなど、人権意識の向上に努めています。また、ハラスメント対策として従業員の相談窓口を設け、人権侵害を未然に防止する施策を講じるとともに、人権問題に対して迅速かつ適切に対応できるよう相談員の教育を実施しています。

多様な人材の活用

◎女性活躍の推進

女性活躍の推進は経営戦略の一つであると位置づけており、育児に関する制度の拡充をし、育児休業取得後の継続就労者も増加しています。また、新入社員研修では各工場での実習を通じて“ものづくりの原点”を学び、さらにはグローバルで活躍できる人材育成として海外拠点へ派遣するなど、活動の幅を広げています。女性活用の推進における2020年までの目標として、「女性社員比率15%」「女性管理職5名」を目指し、その基盤づくりとして女性の新規採用の拡大や、事業所の女性用厚生施設の整備を進めています。

・外部講師による研修

女性社員のキャリア意識向上と、管理職の女性部下とのコミュニケーションの円滑化を目的として、外部講師を招いたダイバーシティ研修を実施しました。

・事業所での環境整備

事業所における女性用シャワーの設置や、トイレのリニューアルなど、女性社員が働きやすい環境の整備に取り組んでいます。

◎障がい者雇用

障がい者雇用は企業の社会的責任と捉え、雇用を促進しています。一人一人が最大限の能力を発揮できる環境を整えつつ、今後も法定雇用率2.0%以上の雇用を目指していきます。

◎シニア社員制度

定年退職後も技術や知識を生かし伝承するため、希望者を再雇用し、継続して活躍できる場を提供しています。



ダイバーシティ研修

ワークライフバランス

育児を行う従業員に対する子育て支援として、法定基準を上回る制度で支援を行い、また、高齢化社会に向けて、介護支援制度の充実を図っています。仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを推進しています。

育児休業規程

休業期間	子が最長1歳6か月まで繰り下げ可
育児休業を希望しない場合の取扱い	子が3歳まで、請求により時間外労働免除等の措置
子の看護休暇	子が小学校3年生まで、1人の場合5日/年、2人以上の場合10日/年を限度
所定労働時間の短縮	子が3歳まで、所定労働時間を6時間/日（時間帯は都度調整）
時間外労働の免除	子が3歳まで、時間外労働を免除
時間外労働の制限	子が小学校就学前まで、24時間/月、150時間/年を限度
育児のための深夜業の制限	子が小学校就学前まで、請求により原則深夜労働を免除

介護休業規程

休業期間	対象家族1人につき最長1年間
介護休業を希望しない場合の取扱い	請求により時間外労働を免除
介護休暇	対象家族が1人の場合、5日/年、2人以上の場合10日/年を限度
介護のための短時間勤務	最長1年まで
介護のための時間外労働の制限	24時間/月、150時間/年まで
介護のための深夜業の制限	請求により、原則深夜労働を免除

労務データ

労務管理データ（単体）

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
従業員数	839	817	793	785	762	737
（男性）	767	745	718	707	682	658
（女性）	72	72	75	78	80	79
平均年齢	42	42	42	43	44	44
平均勤続年数	19	20	20	20	21	19
採用人数	4	16	10	15	9	16
（男性）	3	13	8	11	6	11
（女性）	1	3	2	4	3	5

年次有給休暇取得状況（一人平均）

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
取得日数	9.1	9.9	9.1	9.8	10.1	10.7
取得率%	45	49	46	49	51	53

従業員とともに（人材育成）

当社グループでは、仕事と生活が両立でき、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、従業員の能力が生かされるよう、職種やキャリアに応じたさまざまな研修を行っています。

人材育成

◎新入社員育成に関する取り組み

新入社員育成の取り組みとして、社会人としての基本を主体とした導入研修に加え、3ヶ月の工場実習を組み合わせた育成プログラムを行っています。配属後は、エルダー社員制度により、教育及び相談相手として新入社員1名に対し、教育担当の先輩社員1名を任命し育成しています。

新入社員研修プログラム

期間	研修内容	
4月	導入研修	<ul style="list-style-type: none">安全衛生教育メンタルヘルス教育コンプライアンス教育ビジネスマナー研修コミュニケーション研修ビジネス英語研修自衛隊生活体験研修 他
5月 ～ 7月	工場実習	<ul style="list-style-type: none">ものづくりの基本を学ぶ工場実習広田製作所三菱製鋼室蘭特殊鋼株千葉製作所



《8月配属》

8月に配属し、入社3年目まで、エルダー社員制度により若手先輩社員によるマンツーマン教育・指導を実施しています。新入社員の早期育成と仕事に対する不安解消を図っています。



新入社員研修

◎階層別教育

従業員一人一人がその役割に応じて遂行すべき職務のスキルを身につけるため、階層別教育を実施しています。

2015年度実施 階層別研修

研修対象者	研修内容
上級管理者・部長・マネージャー	ダイバーシティ研修 女性社員活躍推進のための風土づくり
中堅社員（入社14～17年）	周囲を巻き込む仕事力とメンバーを動かす受け止めるコミュニケーション能力の向上
エルダー	仕事の優先順位を考え、段取り良く主体的に進める周囲と協力しながら仕事をするためのコミュニケーション能力の向上



階層別教育（マネージャー研修）

◎公的資格取得報奨制度

公的資格を取得する意欲及び自己啓発意欲を向上させるための一助として、公的資格取得報奨制度を定めています。従業員が公的資格を取得した場合は、資格の種類に応じた金額の報奨金の支給を受けることができます。簿記検定や産業カウンセラー、電気工事士、クレーン運転士等、幅広い種類の資格が対象となっています。

◎ Eラーニングの導入

自己啓発の教育ツールとして、Eラーニングを導入しました。スマートフォンの利用にも対応しており、時間や場所に拘束されずに自由に学習することができます。語学学習、メンタルヘルス等のマネジメント系のほか、技術・技能に関する知識やパソコンの実務知識まで、幅広いカリキュラムの中から任意のコースを選択し受講することができます。受講を促すための継続的な取り組みとして、事務局が定期的にEラーニング通信を発行し利用を促進しています。

◎ グローバル人材の育成

【海外研修制度】

海外で活躍できる人材を一人でも多く輩出するため、2008年から海外研修制度を導入しており、海外事業に直接関係する事業部門だけではなく管理部門からも研修生を派遣しています。

2年間の派遣期間で、語学能力向上に努めながら業務実習に取り組み、その国特有の制度・文化に理解を深め、異なる価値観を尊重できる柔軟性を身に付けていきます。将来、再び駐在員として、もしくは日本国内で海外関連業務をけん引できる人材として、活躍することが期待されています。



海外研修の様子

【Voice】

私は海外研修生としてPT. JATIM TAMAN STEEL MFG. (インドネシア)にて語学勉強、技術指導の補助を行っています。インドネシアに駐在となってから一年半以上が経過し、言語の違いによる意思疎通の難しさ、日本人と現地の方々との考え方の違いのギャップなどに戸惑うこともなくなりました。技術指導を行う中で、日本では問題なくできることが現地では何度も失敗を繰り返しており、日本の技術力の高さを肌で感じています。



三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)
JATIM プロジェクト室
松平 光

【セブ英語留学制度】

業務上、英語で会話する必要性が高い人材の即戦力養成として、セブ英語留学制度を実施しています。フィリピンのセブ島にある大学に短期留学し、マンツーマン授業（4時間）を含む最大9時間／日、3カ月受講し、英語力を磨きます。



マンツーマン授業の様子

【Voice】

短期間で英語力を向上させるため、インプットだけでなくアウトプットを大切にし、先生や他国からの生徒と積極的にコミュニケーションを取り、少しでも多く英語を話す機会をつくるようにしました。ビジネス英語の授業では、フォーマルな表現等を学ぶことができ、実践的な場で活用できる英語力を養えました。初めての海外生活のため、日本との違いに戸惑うこともありましたが、周りの方のサポートのおかげでうまく順応することができました。

経営企画部
高田 円香

◎ 海外赴任前研修

海外赴任が予定されている従業員を対象に海外赴任前教育の拡充と定着化を図っています。赴任前の短期間に、海外危機管理研修を実施するとともに、現地スタッフへの理解を深めるため、赴任国の文化・社会的背景について学びます。また、帯同家族には海外生活や子女教育について相談機関を紹介しています。十分な備えをすることで、海外で活躍できる環境を整えています。

地域社会とともに

地域の一員として、さまざまな社会・地域貢献活動に取り組むとともに、積極的なコミュニケーションを通して社会との共生を目指します。

ボランティア活動

◎災害被災地支援活動

・インド洪水被害被災地支援

MSM SPRING INDIA PVT. LTD. (インド)では、当社が以前より社会貢献活動先として支援している団体「ワールド・ビジョン」を通じて、現地法人の社長を含む3名が支援物資の配布活動に参加しました。2015年12月に大きな洪水被害にあった地域の低所得世帯19世帯を対象に、物資を配布しました。配布物資の内容は、屋台台車、石炭アイロン、荷台付三輪車、商店開業のための仕入商品一式、各家庭用の調理用なべ・プラスチックバケツ・プラスチック椅子です。今後も現地での社会貢献活動を行ってまいります。



支援物資の荷台付き三輪車

・熊本地震被災地支援

2016年4月に発生した熊本地震被災地に対する支援として、三菱長崎機工(株)では、食糧・水・簡易トイレ等の物資を提供するとともに、三菱製鋼(株)、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)、三菱長崎機工(株)の3社で総額150万円を義援金として拠出しました。また、当社従業員が地震によって落下した瓦の撤去作業やブロック塀の解体・撤去作業等のボランティア活動を行いました。

◎絵本を届ける運動

アジアの子どもたちへの教育支援活動を行っている公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に賛同し、2013年度より活動を行っています。貧困や紛争地域で経済的・社会的に教育が困難な子どもたちを支援するために、図書が不足している各国へ訳文シールを貼った日本語の絵本を届けています。2015年度は「ラオス語(ラオス)」「ビルマ語(ミャンマー)」「ダリ語(アフガニスタン)」の計3種類の訳文シールを貼る作業を行い、子どもたちに届けられました。2016年度も継続して活動しています。



絵本に訳文シールを貼る様子

地域の皆様との交流

・八幡臨海まつり

千葉製作所では地元町会、商店会をはじめとする諸団体と八幡臨海部町会連合会に所属する地元企業群とが一体となって開催される「八幡臨海まつり」に参画しています。まつりの企画運営や模擬店の出店などを通して、地域とのコミュニケーションを図っています。



八幡臨海まつり（千葉製作所）

・広田製作所納涼盆踊り大会

広田製作所では毎年8月に納涼盆踊り大会を開催しています。広田製作所従業員や協力会社の方だけではなく、近隣住民の方々にも参加いただき、大いに賑わいます。



納涼盆踊り大会（広田製作所）

・地域住民の見学会

広田製作所周辺自治区の方々を招き工場見学を実施しました。この見学会は、年1回の環境説明会時に自治区長の皆さんの要望に応え開催しました。

・むろらんファミリーフェスティバル

三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)では、新日鐵住金(株)室蘭製鉄所殿の構内企業が中心となり企画運営される「むろらんファミリーフェスティバル」に参画し、従業員やその家族がチーム対抗スポーツ大会などで親睦を深めています。

・三菱製鋼長崎製鋼所原爆殉職者慰霊祭

長崎県長崎市には、旧三菱製鋼長崎製鋼所がありました。勤務中に原爆で殉職された1,400名以上の諸先輩方の慰霊を毎年8月9日に実施しております。また、被爆から70年を迎えるにあたり、犠牲となられた数多くの原爆殉職者の慰霊と鎮魂をあらためて願うとともに、この地で苦難を乗り越えて復興した長崎製鋼所の歴史を語り継ぐため、銘板を設置しました。



三菱製鋼長崎製鋼所原爆殉職者慰霊碑



被爆後の三菱製鋼長崎製鋼所全景

環境マネジメント

環境マネジメントシステムを構築・運用して、積極的な環境保全活動を進めています。

●地球温暖化対策（26 頁）●廃棄物等の削減・再資源化（28 頁）●環境負荷物質の管理（28 頁）
環境データ（環境保全コスト、マテリアルフロー、PRTR・大気・水質）は以下のウェブサイトに掲載しています。
<http://www.mitsubishisteel.co.jp/cont/csr/csr2016.htm>

三菱製鋼グループ環境方針

ISO14001 が、2004 年版から 2015 年版に改訂され、当社グループ環境方針を見直しました。

基本理念

私たちは地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動のあらゆる面で環境の保全に積極的に取り組みます。

行動指針

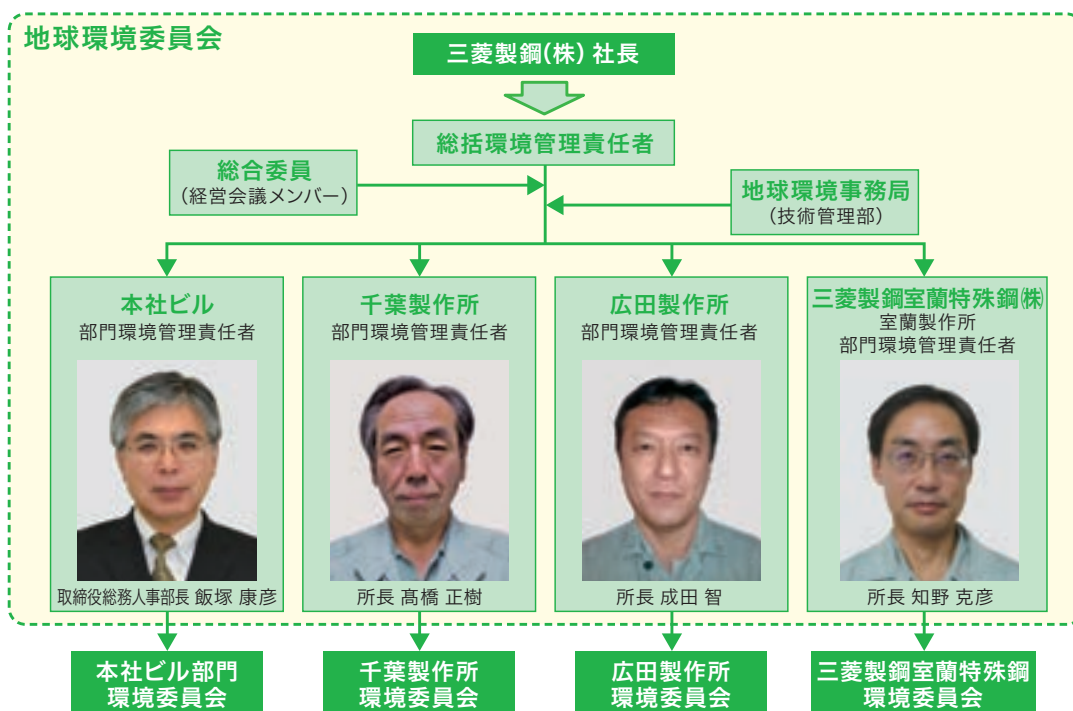
1. ものづくりを通して持続可能な社会に貢献する組織として、製品の開発・設計の段階から製造工程を含むあらゆる事業活動で環境に配慮します。
2. 環境方針に基づいて、環境目的・環境目標を設定し、定期的に見直します。
3. 事業活動のすべての領域で、汚染の予防や、持続可能な資源の利用、及び気候変動の緩和等、環境保護の活動に取り組みます。
4. 環境に関する法律や規制及び当社が同意するその他の要求事項を守ります。
5. 環境活動において、そのパフォーマンスを改善するため、PDCA サイクルを回すことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
6. 環境教育、グループ内広報活動を通じて、グループ内で働くすべての人に環境方針を周知し、ステークホルダーにも開示します。

2016 年 3 月 15 日改訂

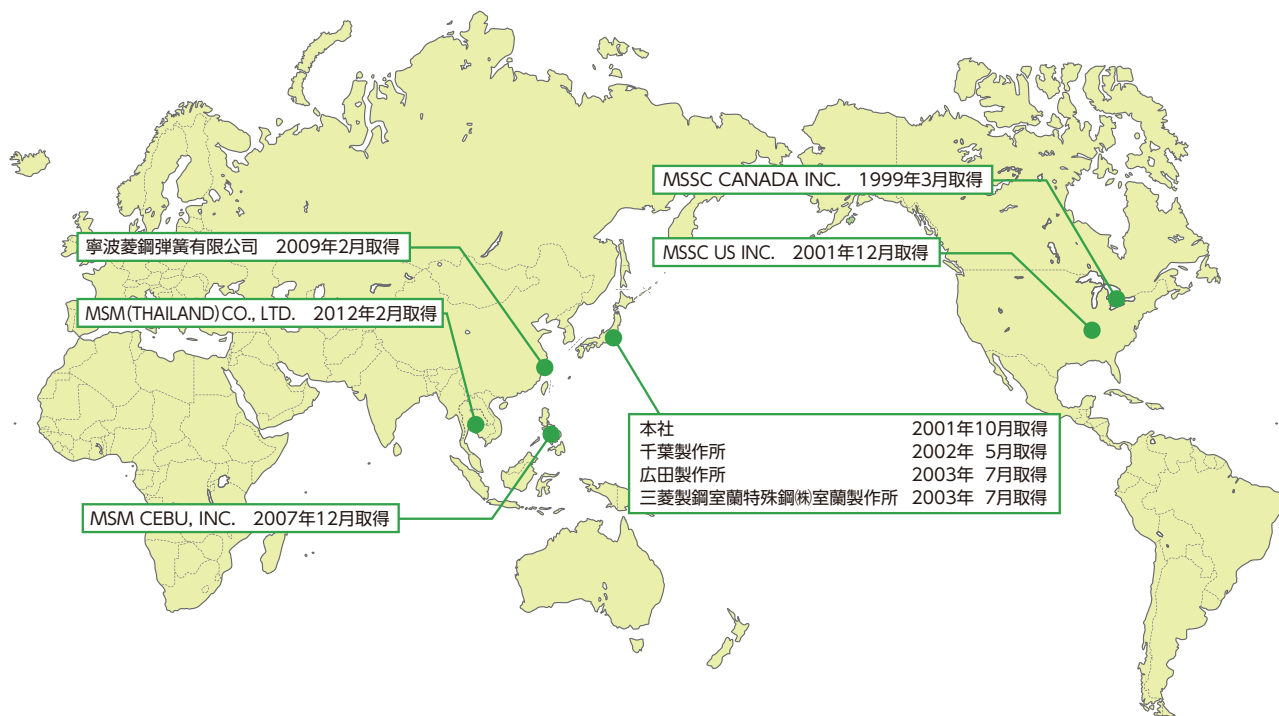
環境マネジメント組織

全社の組織を構築し、地球環境委員会を中心として、環境保全活動に取り組んでいます。

《三菱製鋼グループ環境組織図》



ISO14001 取得状況

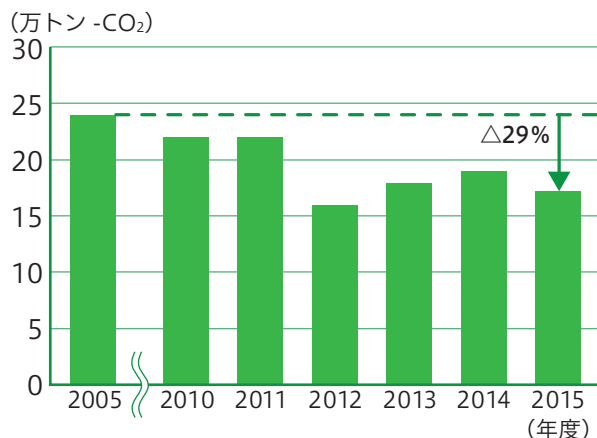


地球温暖化対策

CO₂ 排出量推移

2015年度のCO₂排出量は、国内事業所計で17万4千トンとなり、2005年度の29%減となりました。なお、2005年度は現在、日本が国際的にコミットしている温暖化ガス削減目標の基準となる年です。また、活動目標としてCO₂原単位で対前年度1%削減することに取り組みましたが、結果として9%の悪化となりました。

国内事業所計 CO₂ 排出量推移



(CO₂原単位)

目標：対前年度比1%以上削減

0.32トン-CO₂/トン
(2014年度)

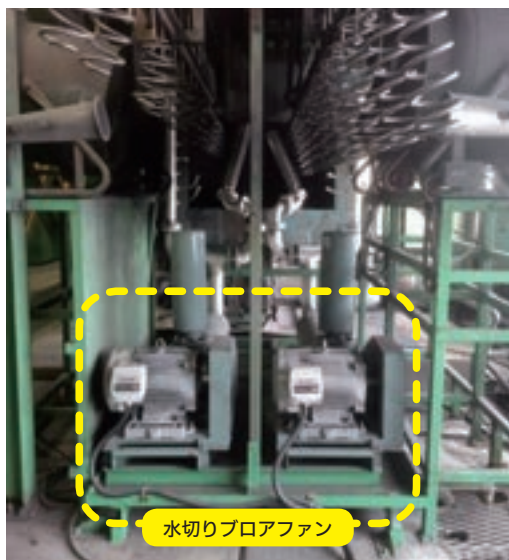
0.35トン-CO₂/トン
(2015年度)

※原単位=CO₂排出量(トン) / 生産量(トン)

地球温暖化対策

各部門で CO₂ 排出量削減の活動に取り組んでいます。

コンプレッサー電力削減：千葉製作所



自巻1号、2号塗装前処理後水切りブロアファン

巻ばね製品の塗装前の水切りのコンプレッサーによる圧縮エアをブロアファンに置き換え、年間約 70,000kWh の電力を削減しています (37 トンCO₂ の削減)。

冷却水ポンプ電力削減：千葉製作所



水槽制御盤

老朽化した水槽制御盤の更新に伴い、冷却水循環ポンプのインバーター化を行いました。圧力制御で電動機の回転数を制御し、電力を削減する事で CO₂ 排出減を図っています。

燃焼ガス削減：三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)室蘭製作所



取鍋の予熱

製鋼工場の取鍋予熱装置 2 基を排熱効率の高い省エネタイプのリジェネレーターへ更新しました。この更新により、製鋼工場の燃焼ガス使用量は、従来比 12% の削減を達成しています。

廃棄物等の削減・再資源化

事業活動に伴って発生する廃棄物の削除やリサイクルに取り組んでいます。

エアドレン廃油水削減：千葉製作所



コンプレッサー室



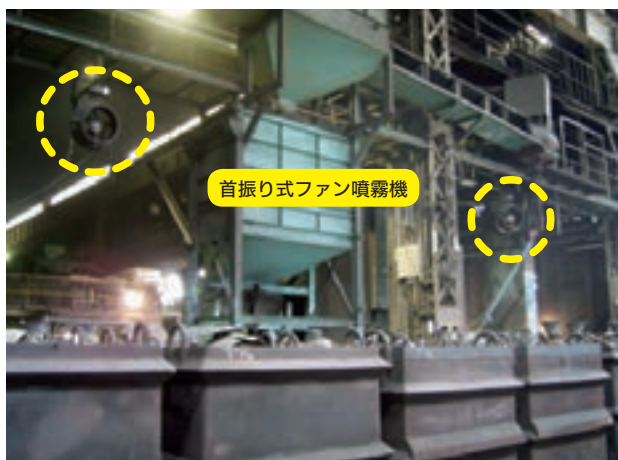
ドレン処理装置

コンプレッサーでエア圧縮時に発生するドレン水(油を含んだ水)をドレン処理装置により水質浄化を行い、廃油水の排出量を抑えています。

環境負荷物質の管理

環境負荷低減のため、事業活動に伴う環境影響を把握し、環境法規制の遵守に取り組んでいます。

臭気の低減：広田製作所



鑄込みラインのファンからの消臭



鑄型製作工場のダクトからの消臭

鑄型への溶鋼鑄込時や鑄型の製作時に鑄型に含まれる樹脂から発生する臭気を中和剤で分解・消臭し、工場内の作業環境を改善、工場外への排出を防いでいます。



〒104-8550

東京都中央区晴海 3-2-22 (晴海パークビル)

TEL 03-3536-3111

<http://www.mitsubishisteel.co.jp>



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C022915



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。